

いりふねニュース

浦安市立入船小学校
平成28年2月10日号

入船小学校校歌・校章制定式

入船小学校の校歌と校章の制定を記念して、2月9日（火）に校歌・校章制定式を行いました。浦安市長、教育長をはじめ教育委員会の皆様、そして日ごろお世話になっている地域の皆様をお招きし、入船小学校の「誕生日」をたくさんの方々とお祝いすることができました。

校長先生のお話

この4月に35年の歴史を持つ入船北小学校と34年の歴史を持つ入船南小学校がひとつとなり、入船小学校が誕生しました。それから10ヶ月が過ぎ、きれいな校舎に生まれ変わり、中学校とも廊下でつながり、今日、待ちに待った校歌と校章のお披露目をする日を迎えました。

今日は、お客様として、浦安市長の松崎秀樹様、浦安市教育委員会教育長の細田玲子様、そして校歌を作詞して下さった穂山定文様を



はじめ、多くのご来賓の皆様や保護者の方々に来ていただきました。お忙しい中をありがとうございます。心よりお礼申し上げます。なお、穂山様におかれましては、本日、この日のために山梨県甲府市よりおいでいただきました。重ねて御礼申し上げます。

さて、入船小学校の校歌と校章については広く全国の人に向けて募集したところ、たくさんの応募がありました。校章は119点、校歌については55点の応募がありました。その中から皆さんの意見やお父さん、お母さん方の意見、先生方の意見をもとに決めました。また、校歌の作曲については、皆さんの中には知っている人もいるかもしれませんが、全国各地で音楽会を開いたり、テレビ番組にも出演されたりしている青島広志さんをお願いしました。

校章は、大阪にお住まいのイラストレーター今井健二さんの作品に決めました。

多くの方が私たちの入船小学校の開校をお祝いして、皆さんの成長を期待してくださっていることがよくわかりました。

そこで、今日2月9日の校歌校章のお披露目の日を、入船小学校の誕生日、創立記念日としたいと思います。

校章のかもめは、未来に羽ばたく入船っ子を表しています。ステージの上のところを見てください。本当に空を楽しそうに飛んでいるように見えます。また「子どもが大きく手を開いて前に進もうとしているように見える」といった感想を持った3年生の人もいます。皆さんを元気付けてくれる校章ですね。

校歌は入船小学校の子どもはこんな子になってほしいという願いがこめられています。歌詞の中にあるように「元気な子」「やさしい子」「伸びゆく子」そして、ふるさと浦安に誇りを持ち、世界の人々とつながる人になってほしいと思います。

この校歌を歌ってみて「背中を押してくれるような曲」という感想を持った4年生の人もいます。こんな素敵な校歌を皆さんの心の歌として、10年、20年、50年と大人になっても歌い続けていってほしいと願っています。

終わりにになりましたが、この校歌・校章にこめられた入船小学校への思いを子ども達、職員一同、大切にして入船小学校の歴史をつくっていきたいと思います。

本日、ご臨席をいただきました皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げましてあいさつとさせていただきます。

本日はありがとうございます。

校旗伝達 ～市長から児童代表へ～



市長から児童代表の6年生丹下紀々香さんに校旗が渡されました。

校旗を受け取った丹下さんは

『この校章にこめられた「夢と希望を持ち、未来に羽ばたく入船っ子」を目標にみんなで力を合わせてがんばっていきたいと思います。』と堂々と宣言しました。

丹下さんが正面を向いて、みんなに新品の校旗をお披露目するとどこからともなく大きな拍手がおこりました。

作詞・作曲、作章者紹介

作詞をしてくださった穂山様から子ども達にお話をいただきました。

穂山様からは校歌の歌詞にこめた思いや願いをお話いただきました。初めてお会いする穂山様でしたが、穏やかに語りかけるようにお話しされるお姿に入船小学校の子ども達を温かく見守ってくださっていることが伝わってきました。

作章者の今井様と作曲者の青島様はスケジュールのご都合で残念ながら欠席でしたが、青島様からは子どもたちに温かいメッセージをいただきました。



校歌発表



いよいよ校歌のお披露目です。

子どもたちは、この日のために一生懸命練習してきました。穏やかできれいなメロディーの校歌を心をこめて歌う子どもたちの様子に会場の雰囲気は、とても優しくなりました。

校歌発表の後、来賓の皆様から「感動しました。」「素敵な校歌でとても嬉しくなりました。」との感想をいただきました。子どもたちの何よりの励みになります。

児童代表の言葉

児童代表の言葉は各学年から1名ずつ言いました。

1年生代表 町田 光祐 君

「ぼくたちは入船小学校第1回目の新入生です。新しい学校で、勉強したり遊んだりして楽しいです。」

2年生代表 鈴木 由菜 さん

「校章の鳥の翼が入船小学校の「入」という字に見えます。未来に向かって羽ばたいてみんなが伸びていくことを願っているように思いました。」

3年生代表 小林 夏紀 さん

「一番の歌詞を私が歌ったとき、いい言葉だなと思いました。その中で一番好きなのは「なかよく学ぶ喜びに」です。みんなと私と先生で仲良く楽しく学んだら喜びになると考えると元気になれる手を進んであげられるようになりました。」

4年生代表 内藤 まゆ さん

「私は校歌の中の「笑顔あふれて」という部分が大好きです。心が暗くなった時もしやなことがあった時も友達の笑顔があれば自分も笑顔になって乗り越えられる気がするからです。」

5年生代表 横山 英祐 君

「校歌のようにかしこく、そしてけじめのある、全学年仲のよい学校にしたいです。」

6年生代表 立石 光流 君

「新しい校歌と校章は夢や希望がたくさんこめられています。僕も夢や希望を持ち続け、叶えたいです。みなさんも夢と希望を持ち続けてください。校歌と校章が作られたことをきっかけに笑顔あふれる入船小学校になると思っています。」

